

# ハーレーダビッドソンレインボー

## '03 FXDL ダイナ・ローライダー

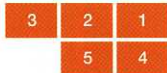
文〇高橋明彦 Text : Akihiko Takahashi  
 写真〇持木大助 Photos : Mochiki  
 取材協力〇ハーレーダビッドソンレインボー (☎0298-22-6666)



「ハーレーダビッドソンレインボー」は、数々のコンプリート・マシンをリリースしてきた個性的なディーラー。  
 このバイクは、シヨベル時代のローライダーをモチーフにして製作された。  
 「若いころに、当時のローライダーに憧れていたけど購入できなかった、という人もたくさんいると思うんですよ。それが今新車で手に入ったらと、私自身が思っただんです」と、担当の橋本幸義さん。  
 カスタムには、基本的に純正パーツが使われているが、理想に近いものが見つからず、オリジナルで作ったパーツも組み込まれていた。また、この79年仕様の他に、初代モデルの77年仕様のカラーも用意されている。



1: ジョイントをかま  
 せて、1インチほど高  
 くなったライザーに、  
 純正のドラッグ・バー  
 を装着 2: ガソリン  
 タンクはノーマルで、  
 ブラック×シルバーの  
 79年モデル風にペ  
 イントされている 3:  
 三つ股のアンダー・  
 ブラケットには、希  
 少なオリジナルのエン  
 ブレムが 4: エア・ク  
 リナー・カバーは、  
 往年のローライダー  
 と同じようにスポー  
 ツスター用を流用  
 5: 試作品をいくつも  
 作って完成させたシ  
 ート



文〇松井勉 Text : Tsutomu Matsui 写真〇深田修哉 Photos : Fukada  
取材協力〇ハーレーダビッドソンレインボー (☎0298-22-6666)

model '03 FXDL ダイナ・ローライダー / ツインカム88

owner 高野和彦さん



2

1



4

3



1:ライザーでハンドルの高さを1インチ上げ、ドラッグ・バーを装着 2:当時のローライダーをモチーフに、ロゴの書体も再現 3:ハーレーダビッドソンレインボー製オリジナル・シート 4:コンチョを付けた薄型のレザー・バッグは、高野さんのお手製

「実はこれ、ツートンの100周年モデル。しかも特別色のやつだったんです。最初は、'77年式のローライダーに憧れていたんですが、信頼性や耐久性を考えた時に、現行モデルをカスタムした方がいいかなって。それで、ゴールドのキャスト・ホイール仕様を買ったんですよ。旧車は、ハーレーのことをよく知っていて、出先でトラブルに遭った時でも、自分で何でも対処できる技術をもった人が乗る、というようなイメージがあったんですね。実際には、完璧にレストアされた旧車もあって、それほど神経質になる必要はないんですけど…」

購入後は、あらかじめショップのスタッフと相談していた通りに、外装を'77年式の明るめのガンメタリックにオール・ペンして、細かな部分にまで手を入れて仕上げていった。

「マフラーは、サンタンス製のローライダーヘッドスを選びました。当時のス

「ワイドグラインドのものを流用しているんです。後ろがちよこんと跳ね上がっている、ファット・ポップ・フェンダーのデザインが大好きだから。スタイリングも低く長く見えるようになって、とても気に入っています。」

僕にとっては、これが最初のハーレー。乗り味もカスタムも、イメージ通りに仕上げるのができて最高ですね。すっかり虜ですよ」

「ワイドグラインドのものを流用しているんです。後ろがちよこんと跳ね上がっている、ファット・ポップ・フェンダーのデザインが大好きだから。スタイリングも低く長く見えるようになって、とても気に入っています。」

「僕は、カスタムの中で一風変わった個所であり、また高野さんが一番こだわったというのが、リア・フェンダーのセレクト。」

「ワイドグラインドのものを流用しているんです。後ろがちよこんと跳ね上がっている、ファット・ポップ・フェンダーのデザインが大好きだから。スタイリングも低く長く見えるようになって、とても気に入っています。」

「僕は、カスタムの中で一風変わった個所であり、また高野さんが一番こだわったというのが、リア・フェンダーのセレクト。」

「ワイドグラインドのものを流用しているんです。後ろがちよこんと跳ね上がっている、ファット・ポップ・フェンダーのデザインが大好きだから。スタイリングも低く長く見えるようになって、とても気に入っています。」

「僕は、カスタムの中で一風変わった個所であり、また高野さんが一番こだわったというのが、リア・フェンダーのセレクト。」



趣味で、四輪のレースを楽しんでいたこともあるという高野さん。その経験を生かして、今は四輪メーカーのテスト・ドライバーを務める、根っからのモーター・スポーツ好き